

## 合原・関「二人の映像リサイタル」は大盛況

### 8 ミリ時代のメッカ朝日生命ホールで開催

令和元年の幕開けを飾る大阪ムービーサークル始まって以来の大イベント「合原一夫・関 剛 二人の映像リサイタル」は6月8日(土曜日)13時より、淀屋橋朝日生命ホールで開催されました。開場の12時30分前にはもう多数の来場者があり、ロビーではあちこちで会話が弾んでいました。

12時30分、入場扉を開放するとどっと観客が会場に入り、瞬く間に客席が埋まってきました。ステージ上には「合原一夫・関 剛 二人の映像リサイタル」の文字が投影されており、舞台左右の袖には「大阪アマチュア映像連盟」と「大阪ムービーサークル」の大輪の花が飾られ、場内に華やかな雰囲気醸し出しました。

13時、細井靖子さんの名司会により岡本至弘実行委員長の開会挨拶のあと第一部の作品上映。トップバッターは合原作品「ああ消えゆく万国博」今から50年前の大阪万博を描いた貴重な記録。次は関作品の「ホイアンの人びと」続いて「聖なる河」「古都の韻(ひびき)」「炭に生きる」「アラスカ大自然の中で」そして前半の最後は関作品の「合唱」で終了。場内からは溜息も聞こえて映像の持つ魅力を堪能しておられました。

休憩のあと、二人の舞台挨拶、花束贈呈、祝電披露等の一連の行事のほか合原会長から全国から来ていただいた方々を紹介されました。東京・千葉・福岡・岐阜・三重・高松等、遠路はるばる駆けつけて頂き感謝・感謝です。

第二部上映は関「赤いコート」「ナイアガラ」、合原「海苔に生きる」、関「源氏物語絵巻・藤壺と光源氏」「陰炎(かげろい)」、合原「君の生涯よく頑張ってきたね」「私の生涯もう少し」の順で上映。最後は二人とも舞台に上がって最後までご覧いただいた観客の皆様にお礼を申し上げて閉会となりました。舞台等に飾られていたお花は、OMC会員の皆様が小分けをして希望者に配布され、ようやく予定の17時前には会場を後にし、近くのレストラン懇親会へと席を移しました。



### 7月例会のご案内

- 第2例会；第3木曜日 13時より…撮影会作品公開審査の後一般作品上映
  - 通常例会；第4土曜日 27日 18時より…OMC フェス候補作品は今月分迄
- ※いずれもコメントを書いてきて受付に出してください。

# みんなの力を頂いて

## 映像リサイタル成功に感謝

合原一夫

令和になって5月17日、東京は亀戸市文化会館で「合原一夫・映像リサイタル」を大阪では6月8日、朝日生命ホールで「合原一夫・関剛 二人のリサイタル」を開催いたしました。両方とも盛会にて無事終了し、ほっと肩の荷を下した気になりました。私は映像歴50年、関氏はさらに長く58年の歴史があり、この間多くの仲間たちと知り合い会話を交わし、映像を通じて人生を豊かにしてきました。これら映像を通じての人と人との交流は、私の宝物とも言えます。

映像歴50年を一つの区切りとして、今回の映像リサイタルを思い立ったのは、私の人生上の一大行事として正解だったと理解しております。

### ■周りの方のご協力で走り出す

昨秋、東京での会合の後、東京アマチュア映像連盟の役員たちに、私の個人映写会をやりたい旨、うち開けましたところ、たちまち賛同いただき、新年会を神楽坂鳥茶屋で開催、東京アマチュア映像連盟の各クラブの責任者、役員たちの前で、個人映写会開催を正式表明。以後、とんとん拍子で企画・実施へと進行していきました。地理的に遠い私はたいした事は出来ず、ほとんどが東京アマチュア映像連盟の方々が動いて戴き、大変感謝しております。

### ■大阪では関さんがご尽力

昨年から関さんに二人で映写会をやらないかと誘っていて、今年に入ってようやく準備に本格的に取りかかり、まずは念願の朝日生命ホールの日程を押さえることから始まりました。プログラム構成、デザイン等 関氏持ち前のセンスを活かし、次々と準備が整いました。この点、私は関さんにお任せの状態でしたが、結果的にこれがよかったと思っています。

### ■OMC会員さんたちの支援に助けられて

企画は立派でもそれを実行するには、それなりに人が必要です。岡本さんに実行委員長をやってもらって、大勢のOMC仲間たちが分担して、いろいろとやって頂き開催へとこぎつけました。こういう動いてくれる人がいないと大きな行事は出来ないものです。感謝の至りです。

### ■観客動員

一般の公開映写会は、プログラム発送用の芳名簿があり、それによってプログラムを発送していますが、今回はそれに加えて年賀状のやり取りが続いている、かつての会社の人とか、亡き妻の友人とか、掛かり付け診療所の看護師さん、同じマンションの人とか、親戚とか幅広く広報活動を行い可成り効果があったと思います。関さんも近隣とか以前の8ミリ仲間とか、親戚の方など動員には力を入れられたようです。

### ■300名近くの来場者で盛会

朝日生命ホールの大きな会場でガラガラだったら気の抜けたビールみたいでたでしょうが、12時30分の開場前からロビーにあふれるほどの人で、開場とともに一斉に客席へと移って頂き、無事開会へとこぎつけました。ステージには左右に花輪が飾られ（ロビーにも花輪があり）華やかな雰囲気のもと司会の細井靖子さんの登場、そして岡本至弘実行委員長の開会挨拶で幕開け。

### ■遠くからお越しの主たる方たち

・東京アマチュア映像連盟会長：鹿島隆雄、ルリ子夫妻（千葉県市川市）・日本アマチュア映像作家連盟副会長：金子喜代子（東京）・八王子映像協会名誉会長：西澤幹夫（東京都八王子）・日本アマチュア映像作家連盟副会長：吉田瑞穂・菊子夫妻（岐阜）・福岡映像協会会長：中島清（福岡）・高松映画ビデオ友の会会長：今田守（香川県高松）・四日市ビデオクラブ会長：門脇篤（三重県）・伊勢志摩ビデオサークル副会長：奥山正男（三重県）等々の方がご来場いただきました。

遠路はるばるお越しいただき誠に有難うございました。

### ■懐かしの映像・作品募集

大阪アマ主催で9月11日（水）難波市民学習センターにて「懐かしの映像を楽しむ会」を開催。

只今作品募集中。10年以上前に制作された良い作品を応募してください。

## 6月例会レポート

例年なら梅雨入り時の22日(土)いつもの例会場、難波市民学習センターにて開催。正月例会以来欠席され、ご病気が心配されていた華岡氏が5ヶ月ぶりに姿を見せられ、作品も拝見できて、ほっとしました。会場の冷房が効きすぎて寒いとの声で事務所に駆け込む一幕も。

■運営担当：【司会】 堀、【書記】 紙本、【映写】 岡本、坪井、【メモリー記録】 中川、  
【受付兼照明】 宮崎、森口の各氏

■出席者：江村、岡本、紙本、合原、進藤、関、高瀬、坪井、中川、中村、華岡、堀、宮崎、森口、  
山本の15氏

ト映作品(コメントは作者)

### 1. 満潮の焔めき 紙本 勝

BD  
6分45秒

兵庫県たつの市新舞子海岸では、5つ程の条件が揃えば鱗状の干潟の絶景が撮れる(チャンスは12月と1月のそれぞれ2日間ほど)というので、2月の晴天と大潮の日に出かけたが矢張り駄目で、その代わりにしてくれたのが満潮の光景、救われた気になりました。



### 2. 細川ガラシャ 江村一郎

BD  
10分

来年の大河ドラマが明智光秀を主人公にしているの、話題になる前に作らねばと思い制作しました。

内容は光秀祭りとガラシャ祭りを基本に細川ガラシャ生涯の足跡を追う。



### 3. ノートルダム大聖堂 中川良三

BD  
9分16秒

パリの中心部を流れるセーヌ川の中州であるシテ島南東にそびえるノートルダム大聖堂。フランスの世界遺産「ノートルダム大聖堂」は、パリの一大人気観光スポットです。2019年年4月15日夜(現地時間)大規模火災が発生し尖塔などを消失した。4年前の録画映像を引っ張り出し、大聖堂(ゴシック建築)の外観や3つの薔薇窓のステンド・グラス・聖堂内部の彫刻などを回顧してみました。

#### 《会長寸評》

火災で話題になった大聖堂ですが、火災のシーンはYouTubeでの映像とか。この場合は、テレビで火災のシーンを見ている作者、火災場面、タイトル、実は火災前に行った思い出の大聖堂である、といった作品構成(シナリオ)を考えられたら、観る人の印象が違ってくるはず。



### 4. 宇治川沿 散策 宮崎紀代子

DVD  
8分18秒

昨年初秋に撮影。王朝貴族の華やかな恋愛模様を描いた源氏物語、宇治十帖はこの宇治川が舞台となっている。平安後期に完成した平等院は華やかな時代の裏にあった藤原頼通の篤い心情に心を巡らせた。



### 5. ちんどんで ふれあい 岡本至弘

BD  
13分30秒

平成17年5月に制作したものです。中身はパレードを撮影したものです。DVテープよりパソコンに入れたが入らず、進藤さんにダビングしてもらったものです。



### 6. 立山黒部アルペンルートに行く 進藤信男

BD  
13分15秒

平成初期の夏。山歩き目的で訪れた立山・黒部、もう一度行きたいとの願いから、友人に誘われて実現。ツアー団体のためじっくりカメラを構える機会は少なかった。「戦後日本復興のために必要な電力確保の大命題」に命懸けで挑んだ先人達に頭が下がる。工事中で鎮魂碑に近づけなくダム上でしばし立ち尽くした。

映画「黒部の太陽」は脚本も買って読んだ。ここでも現在では外国からの観光客が多いのには驚くばかりだ。



7 メサベルデ国立公園

華岡 汪

BD

10分48秒

メサベルデ国立公園はアメリカで唯一自然のものでない。国立公園で100ヶ所を超える岩窟住居等の遺跡が残されている。1300年代にはメサベルデ全域で30万人程の先住民族が生活していたと推定されるが14世紀後半すべての民族が忽然と姿を消した。

1888年周辺の牧場主が発見、考古学者が本格的調査を始めたが理由は不明のまま今日に至っている不思議な遺跡である。



8 宇治の縣祭

高瀬辰雄

BD

11分50秒

暗闇の奇祭といわれる宇治の縣祭を初めて撮影しました。例年10万人の人出があり撮影できるか心配でしたが、神社の境内や沿道で祭礼を見ている人はほとんどいないという不思議な祭り、ゆっくり撮影できました。



9. 夏・美瑛

合原一夫

BD

7分15秒

北海道美瑛の魅力にとりつかれて四季折々に4回も通いました。今までに冬編・春編（5月）秋編と続いて発表しましたので今回は残る夏編です。美瑛の夏は花もいろいろ咲いていてまさに彩りの丘。これは平成14年の撮影でこの頃はまだ観光客の姿も少なく、風景そのものが楽しめた時代。今は外国人など観光客が多く畠を踏み荒らすなど被害もあると聞きます。最後の方に出てくる少し傾いたポプラの木、愛称を込めて「哲学の木」と云っていましたが、あまりの観光客やカメラマンが畠の中に入って踏み荒らすので、とうとう撤去したそうです。

象徴的な哲学の木がないとは残念です。今回のナレーションは一人称で、自分で自分に語っている気持ちで読んでみました。こういう作品の作り方があって、ということを知ってもらえたら幸いです。



10、玉皇宮廟会に参加して

山本正夢

BD

12分50秒

台湾の友人から連絡があり、祭りがあるので来ないかと。祭りは小都市屏東で行われ、今回で40回目あまり派手ではないが田舎の素朴な人々との交流を楽しみました。



11、理髪店にて

堀 皓二

BD

9分

今や、私もビデオの中に描かれている父母の年齢に近づいた。二人のことがノスタルジックに思い出される。散髪のシーンは格別だ。TVFで入賞。高槻ケーブルテレビで放送されたテープです。



12. 二人の映像リサイタルDVD 2版

二人の映像リサイタル実行委員会 制作

BD

12分

二人の映像リサイタルが、無事に終わることができました、これも OMC 皆様の御尽力と「アマチュア映像連盟会員様」等々 皆様の御蔭です。

ナレーションではある映画監督に『あなたのつぎ一番の作品は?』と尋ねたら、『NEXT ONE』と答えられたとか…。お二人にも次の作品とますますのご活躍をビデオ仲間一同、心より願っております。

